

県王者へ熱戦火ぶた

第75回 県高校総体

第1日

本県高校スポーツの頂点を競う「第75回県高校総合体育大会」（県高体連主催）が3日、青森市を主会場に開幕し、同市と五戸町でサッカーなど4競技を行った。総合開会式は、新型コロナウイルスに開かれる夏のインター

ハイの予選を兼ね、11市町で計28競技（先行開催の6競技と、参加チーム不足で競技を実施しないホッケーを除く）を実施する。一般客は観戦不可だが、保護者の観戦は原則認める。（本紙取材班）



【サッカー男子3回戦・八学光星—野辺地西】延長後半、野辺地西のDF布施（中央）がクロスに頭で合わせ、決勝点を挙げる＝みちぎんドリームスタジアム

兄弟校対決は大接戦

○：サッカー男子3回戦で兄弟校対決となった八学光星—野辺地西は、互いに好機をつくったものの、無得点のまま延長までもつれる大接戦に。最後は、5大会連続（代替大会含む）決勝進出中の野辺地西が地力を見せ、主将のDF布施のゴールで八学光星を破った。

「敵しいゲームになるのは予想していた。押し込む中で決め切れていれば、もう少し楽に試合を運べたはずだが…」と野辺地西の三上監督。

PK戦突入が現実味を帯び始めた延長後半、自陣の守備位置から敵陣のゴール前まで走り込み、クロスに合わせた殊勲のヘディングをたたき込んだ布施は「練習通りの形で結果を出せて良かった。決勝で青森山田を倒したい」と意気込んだ。